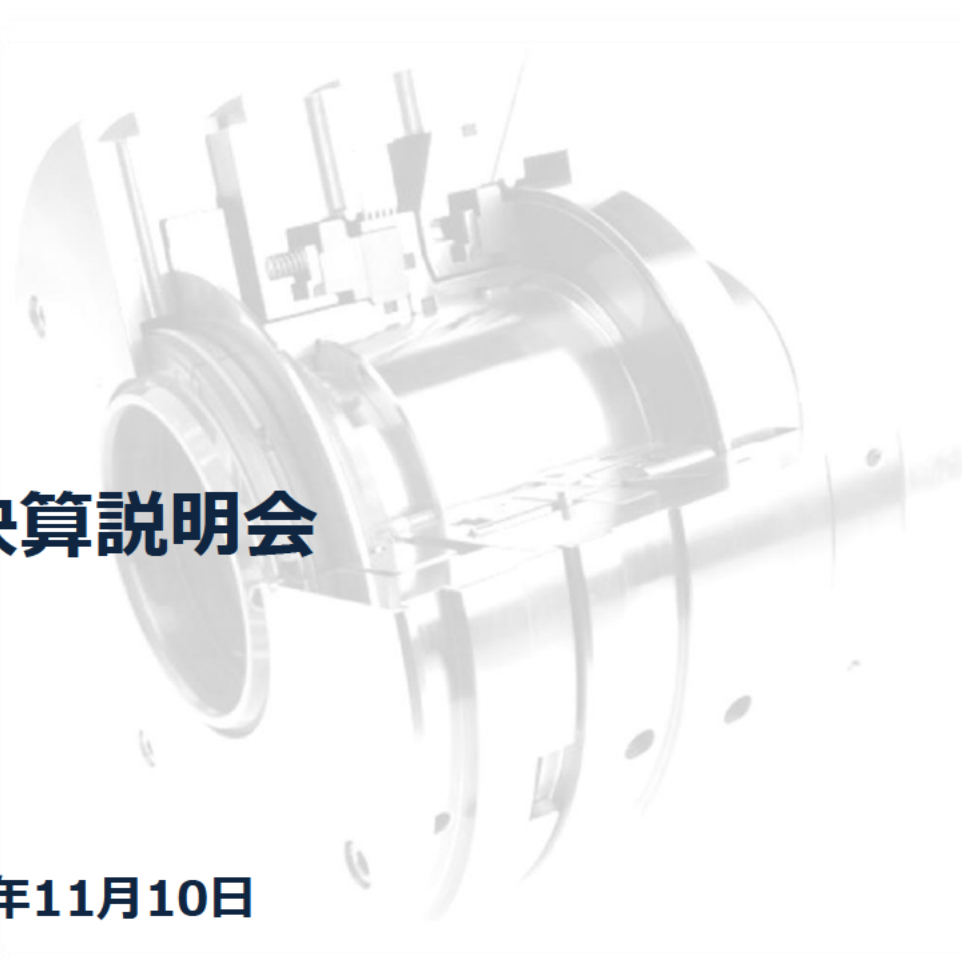
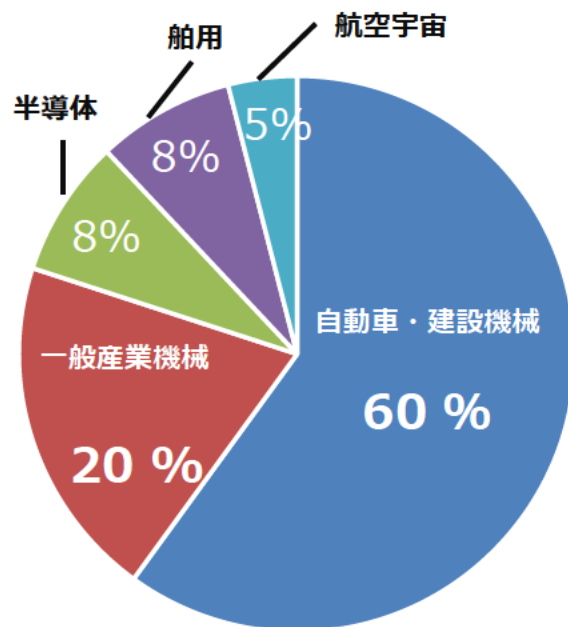


イーグル工業株式会社 2022年3月期 | 第2四半期決算説明会

2021年11月10日



22年3月期Q2セグメント別販売構成



1. 22年3月期第2四半期累計決算の概要

- 主に自動車・建設機械、半導体業界向け事業が牽引し前年同期比で増収増益
- 今期中間配当金は予定通り25円

2. 22年3月期通期業績予想

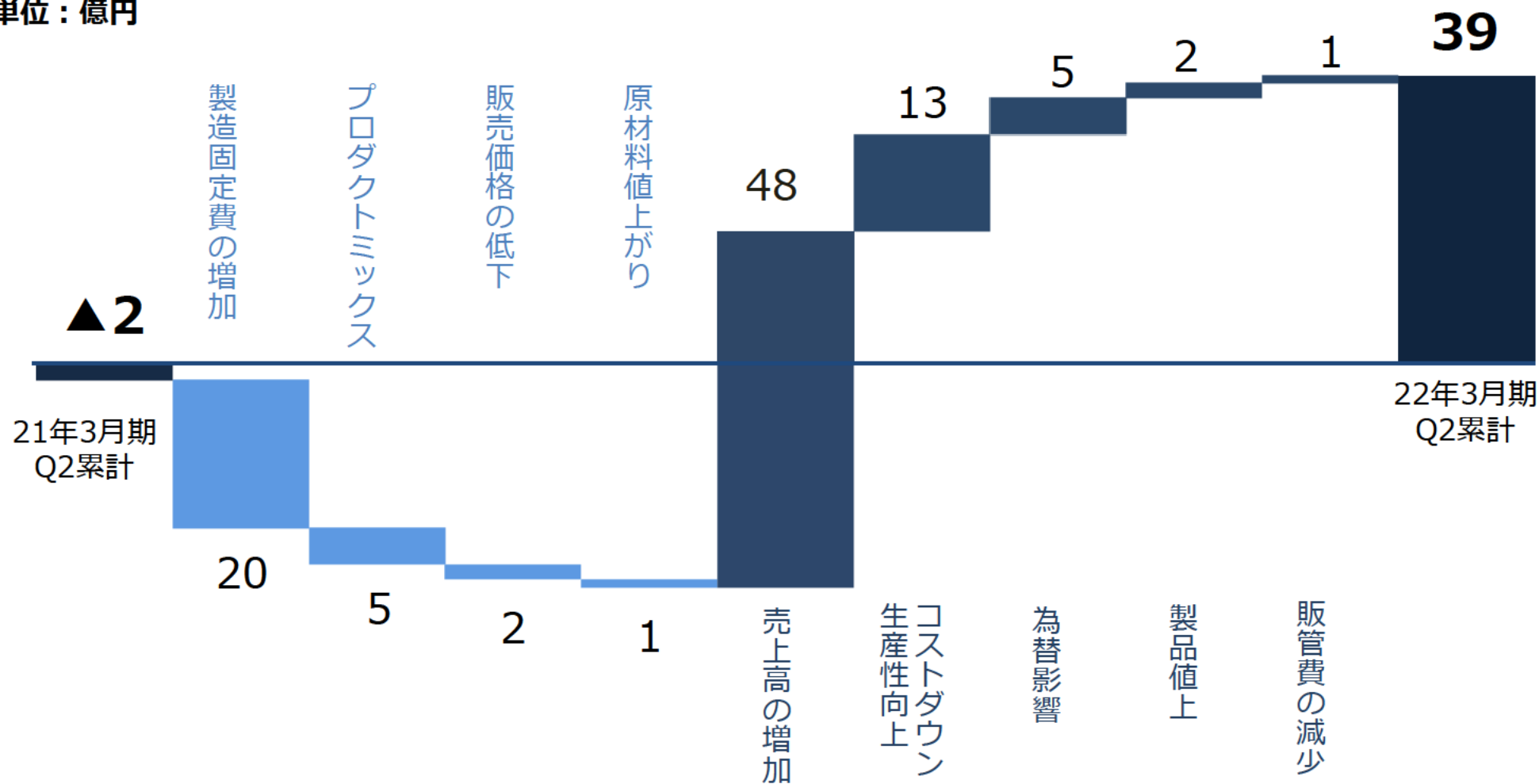
- Q2以降の自動車生産台数減により通期予想を下方修正
- 期末配当金は25円を据置予定

1. 22年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 22年3月期の業績予想
3. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

単位：億円

	21年3月期Q2 実績	22年3月期Q2 実績	前年同期対比		2021年7月20日開示 業績予想数値との対比	
売上高	579	686	107	119%	▲37	95%
営業利益	▲2	39	41	—	0	101%
経常利益	11	51	40	465%	1	102%
親会社純利益	▲10	35	45	—	▲3	92%

単位：億円



単位：億円

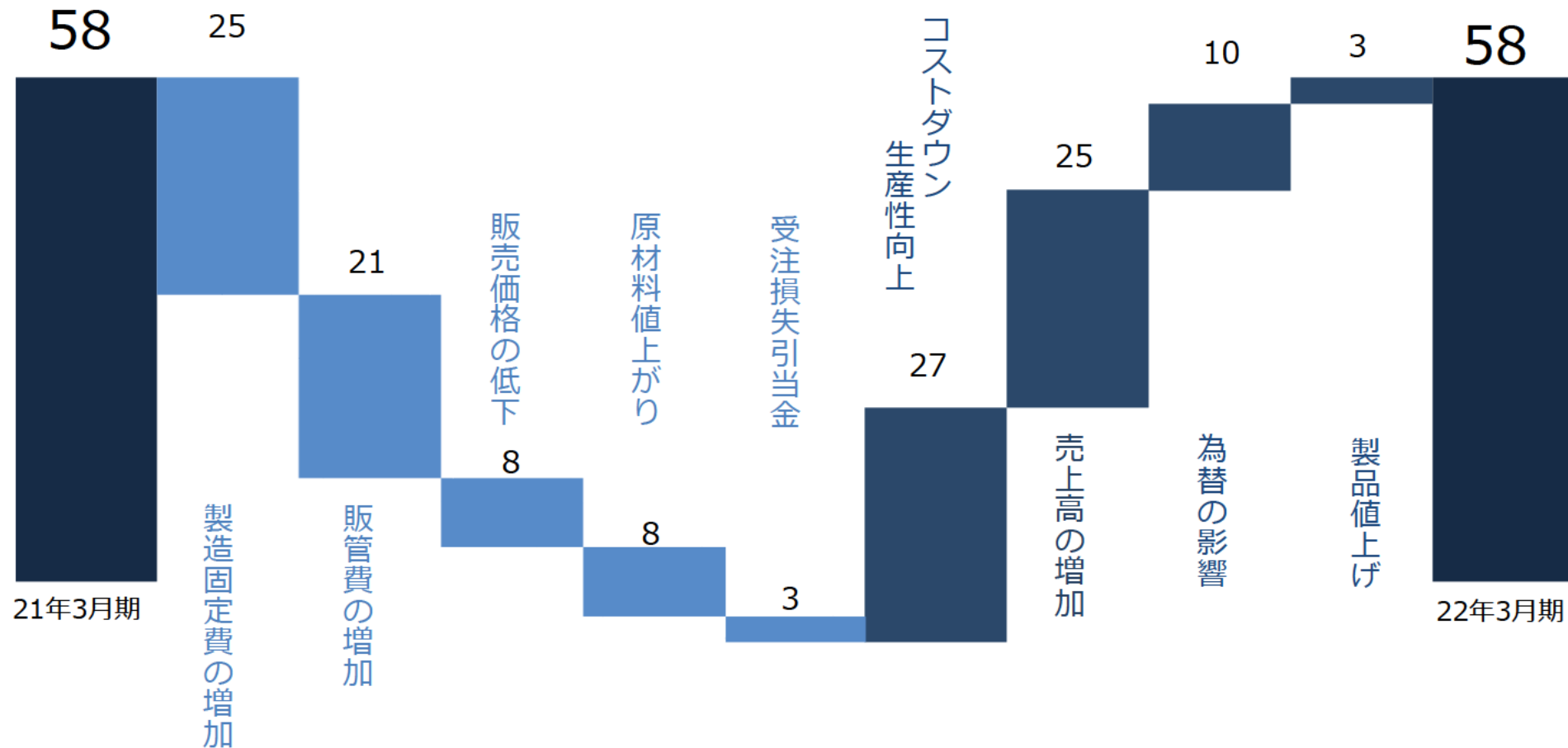
		21年3月期 Q2累計実績	22年3月期 Q2累計実績	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	321	412	92	129%
	営業利益	▲21	16	37	—
一般産業機械	売上高	130	137	8	106%
	営業利益	9	10	2	117%
半導体	売上高	41	57	15	137%
	営業利益	▲1	3	4	—
船用	売上高	53	53	▲0	100%
	営業利益	8	10	1	114%
航空宇宙	売上高	34	27	▲7	79%
	営業利益	2	▲0	▲2	—
合 計	売上高	579	686	107	119%
	営業利益	▲2	39	41	—

1. 22年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 22年3月期の業績予想
3. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

単位：億円

	21年3月期 実績	22年3月期 業績予想	前年対比		2021年7月20日開示 業績予想数値との対比	
			増減	前期対比	増減	予想対比
売上高	1,305	1,390	85	107%	▲95	94%
営業利益	58	58	▲0	100%	▲23	72%
経常利益	84	77	▲7	91%	▲23	77%
親会社純利益	40	49	9	122%	▲16	75%

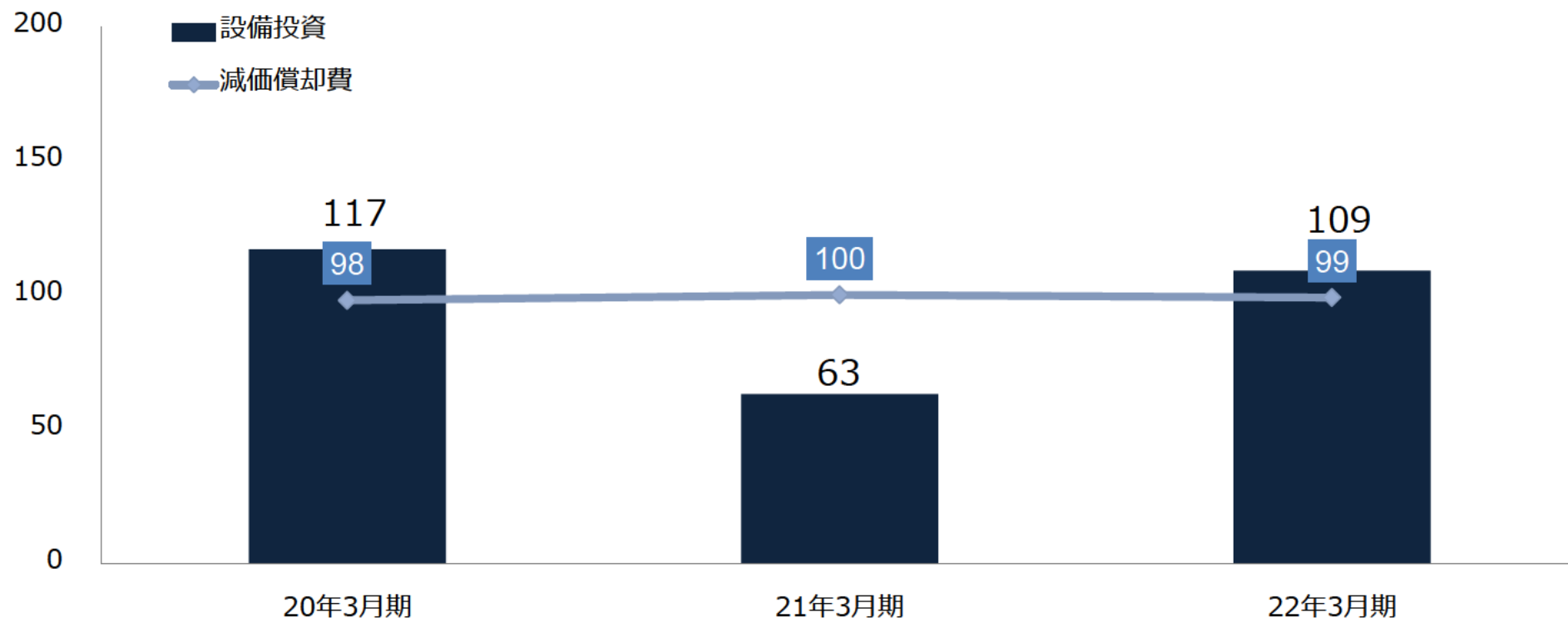
単位：億円



単位：億円

		21年3月期 実績	22年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	782	799	17	102%
	営業利益	9	14	5	152%
一般産業機械	売上高	263	292	29	111%
	営業利益	22	23	1	105%
半導体	売上高	91	119	28	130%
	営業利益	2	6	4	240%
舶用	売上高	105	105	▲0	100%
	営業利益	20	15	▲5	75%
航空宇宙	売上高	63	75	12	118%
	営業利益	4	0	▲4	—
合 計	売上高	1,305	1,390	85	107%
	営業利益	58	58	▲0	100%

単位：億円



22年3月期は半導体業界向け事業を中心に投資を実施

	20年3月期	21年3月期	22年3月期 (見通し)
配当金 (円)	50	50	50
配当性向 (%)	84.4	61.2	50.1
自己資本比率 (%)	44.9	47.8	51.1
一株当たり利益 (円)	59.24	81.70	99.77
ROE (%)	3.7	5.0	5.7
ROA (%)	1.7	2.3	2.8
ROIC (%)	3.1	3.1	3.1

ROEを始め各指標は改善傾向にあるため利益確保を進めて向上を図る

1. 21年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 21年3月期の業績予想
3. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

研究開発を進めるべき方向を示すキーワード 「環境・省エネ、それを可能にする独自技術」

EKKコア技術

- ・高精度流体制御技術
- ・表面テクスチャリング技術
- ・ベローズ技術



- EV・FCV
- 油圧ハイブリッドシステム
- 次世代エネルギー関連
- 次世代航空機・ロケットエンジン

各事業において
新商品開発が進行中



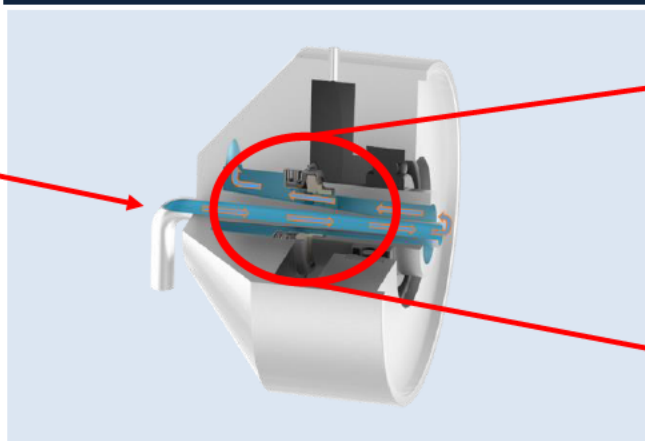
新商品の展開により社会課題の解決を図り持続可能な社会の実現と企業の成長を両立

欧州自動車メーカー・プレミアムクラス向けメカニカルシール量産中

EV構造イメージ



EVモーター冷却システム

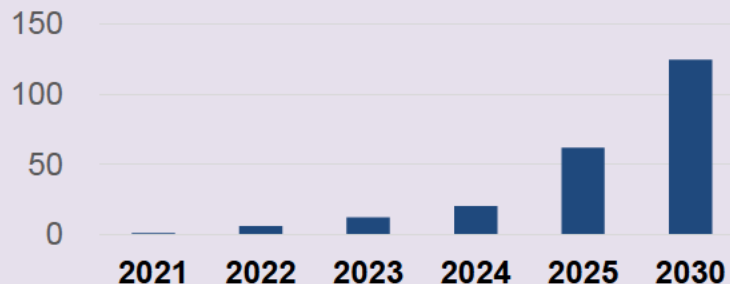


メカニカルシール



単位: 億円

EV向け製品販売見通し

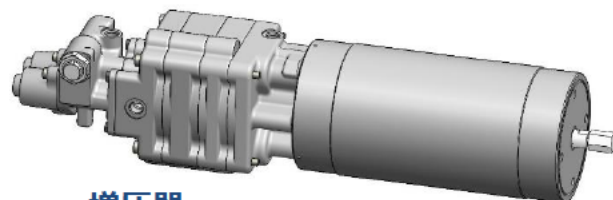


現在のEV開発のトレンドである
eAxle用に開発・拡販を継続

EKK油圧ハイブリッド装置システムの展開状況

売上高：長期予測

油圧ハイブリッド装置システム



増圧器

アキュムレータ

- ・油圧ショベルやフォークリフト作動部の戻り油を回収
- ・回収油を増圧器で高圧に変換しブームやフォークの上昇に使用
- ・自己圧による増圧作動のため、外部駆動エネルギー不要

従来システム比：燃費10%減

建設機械



農業機械



フォークリフト

ミニタイプの
実地試験中

売上高（億円）

250

■ 売上高

200

150

100

50

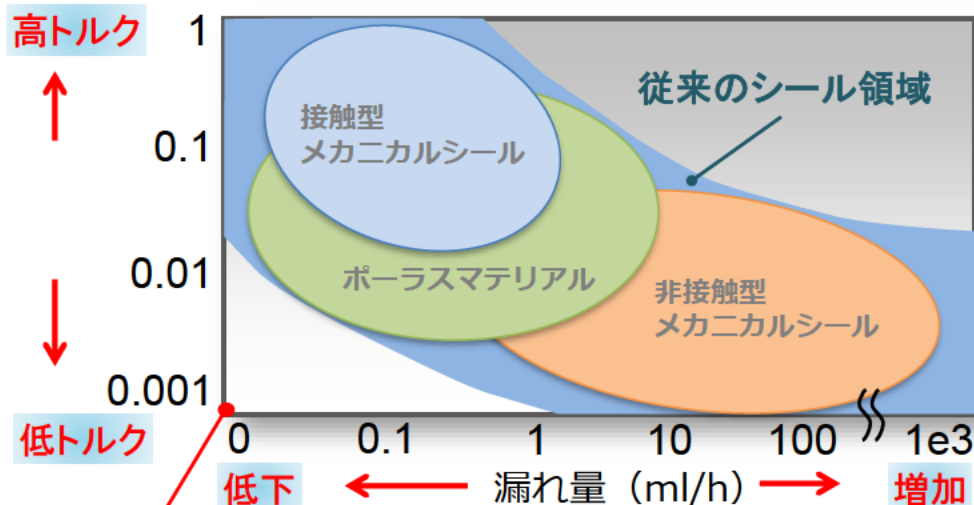
0

2022年度 2025年度 2030年度

油圧システム機器の省エネへ貢献することから実地試験を継続

表面テクスチャリング技術の概要

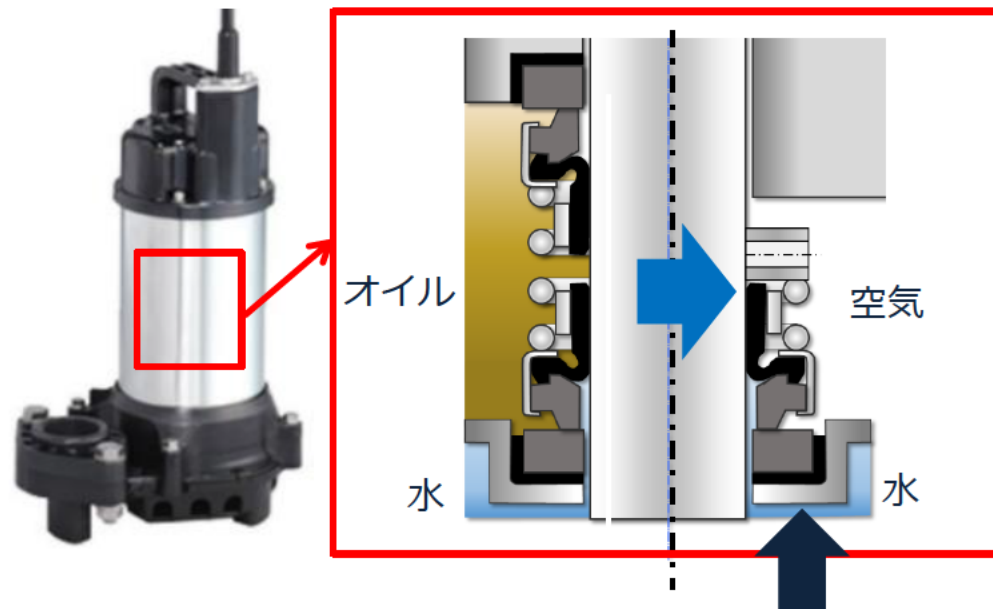
トルクと漏れ量の相関図



Target 超低トルク環境でも・低漏れを実現

表面テクスチャリングメカニカルシールの各システムでの採用と実証実験が継続中

水中ポンプ用テクスチャシール

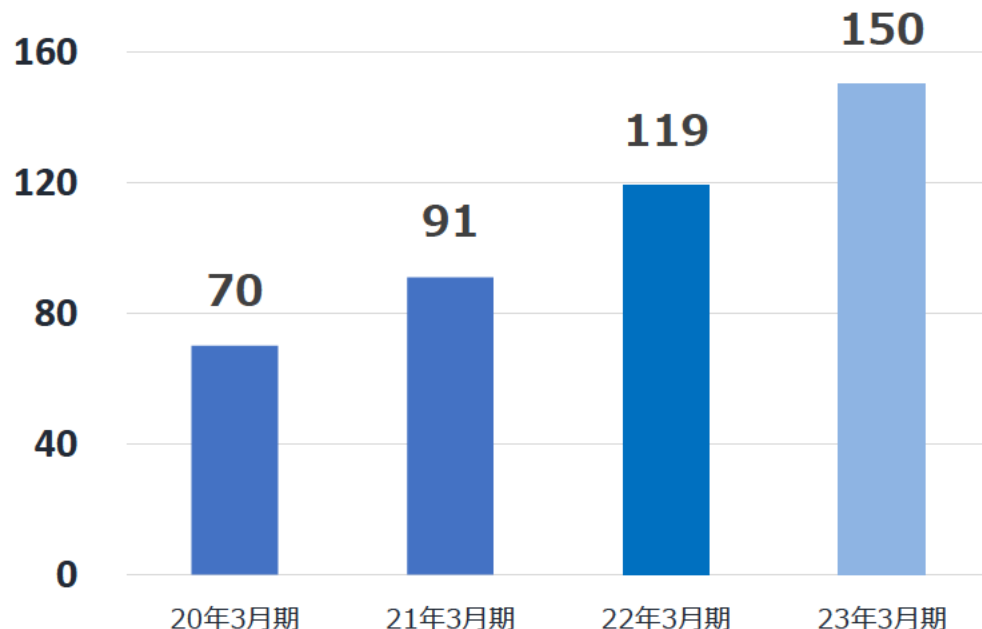


オイルレス・低消費電力
(約15%低減)を実現・
耐スラリー性も向上



半導体業界向け事業売上予測

売上高(億円)



EKKの半導体産業向け製品

磁性流体シール



半導体や液晶の
製造装置の真空
シール

高性能Oリング



弾力性とテフロン
耐薬性・熱安定性
を持つ合成ゴム

溶接金属ベローズ



半導体・液晶パネル
製造装置用の往復
駆動部等に使用

ロータリージョイント



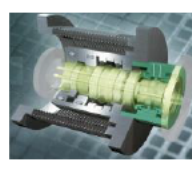
半導体ウェハの
研磨やラッピング
装置等に使用

スペリアドアシール



半導体製造装置用
ゲートバルブにゴム
を焼き付けた弁体

ハイブリッドシール



磁性流体シール、
ベローズ、
ロータリージョイント
等を組合わせたシール

足許は5G, IoTの進展に伴い来期以降も販売増加見通し

潮流・河川発電設備への参画

太陽光・風力発電と比較し気象条件による
影響低➤電力の安定供給可能



<EKKテクスチャシール適用検討> 発電タービンでの実証試験準備中



発電タービン用
テクスチャシール

テクスチャシール性能

- ・ 極低摩擦
- ・ 漏れゼロ
- ・ 長寿命

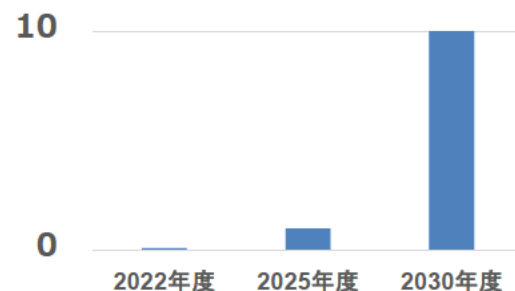


ユーザーメリット

- ・ 発電効率向上
- ・ 環境負荷低減
- ・ メンテナンスコスト低減

実用試験完了予定：2024年初旬

売上高（億円）



次世代航空機エンジン

- 各試験にシール供給中
- ゼロエミッションを目指す



セグメントシール
主なEKK製品

基幹ロケット

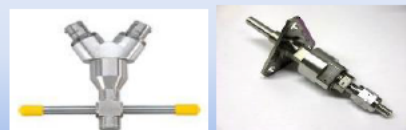
H-IIA 44号機
2021/10/26 打上げ



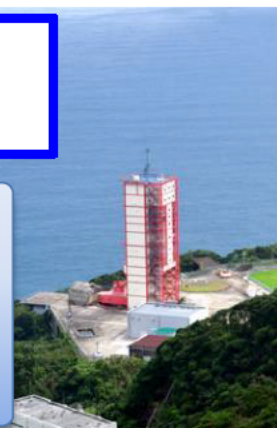
メカニカルシール、
各種シール、バルブ類



イプシロン 5号機
2021/11/09 打上げ



バルブ類



次世代ロケット

- エンジンの再使用化
- ターボポンプ用シールの長寿命化

